

## 平成 21 年度 第 1 回 摂津市地域福祉計画推進協議会 議事録

日時 : 平成 21 年 6 月 30 日 (火) 13 : 30 ~ 15 : 30

場所 : 市役所 西別館 2 階 第 6 A ・ B 会議室

出席者 : 委員 20 名

(敬称略 : 会長・井岡、副会長・梶村、竹之下、下野、前田、野口、三浦、高岡、前川、園田、山下、直江、高野、武田、細川、中川、北川、東江、山上、福永)

摂津市 (地域福祉課) 5 名

業者 (地域社会研究所) 1 名

計 26 名

資料 : 次第

資料 1 - 1 平成 21 年度摂津市地域福祉計画進捗状況報告書

資料 1 - 2 第 1 期摂津市地域福祉計画 (平成 17 年度 ~ 21 年度) 関係施策まとめ

資料 2 スケジュール (予定)

資料 3 - 1 第 2 期摂津市地域福祉計画策定に係る実態調査のねらいと分析方法

資料 3 - 2 第 2 期摂津市地域福祉計画策定に係る実態調査 (調査票案)

摂津市地域福祉計画推進協議会委員名簿

### 開 会

#### ● 事務局

本日は公私なにかとお忙しい中、摂津市地域福祉計画推進協議会にご出席賜り、誠にありがとうございます。

私、地域福祉課長の登壇でございます。本日は平成 21 年度第 1 回目で新任期ということもございまして、冒頭の司会を担当させていただきますので、よろしく願いいたします。

それでは早速ではございますが、まず最初に推進協議会委員にご就任いただきます皆様方に委嘱状を交付させていただきます。就任される委員の皆様につきましては、ご配布しております資料の推進協議会委員名簿のとおりでございます。

本来ならば、皆様方お一人ずつに委嘱状を交付させていただくところでございますが、時間の都合上、代表でお一人の方に交付させていただき、他の皆様にはあらかじめ委嘱状同封の封筒を置かせていただいておりますので、ご了解いただきますようお願い申し上げます。

委嘱状の交付につきましては、森山市長から交付させていただきます。

それでは、委員を代表しまして、学識経験者で委員に就任していただきます、井岡勉様、前に出ていただき、森山市長から委嘱状の交付をお受けください。

#### ● 市長

[会議室上座で委嘱状の交付]

#### ● 事務局

ありがとうございます。井岡教授におかれましては、お席にお戻り下さい。続きまして、市長からご挨拶申し上げます。

● 市長  
[あいさつ]

● 事務局  
それでは、市長はその後公務がございますので、これで退席させていただきます。

● 市長  
また、いつでもおたずねください。  
[市長退席]

● 事務局  
次に、次第に従いまして、本日ご出席の各委員の皆様の自己紹介をお願いいたします。名簿順をお願いいたします。まず、最初に井岡委員からお願いします。

[委員名簿順に各委員自己紹介]

ありがとうございます。続きまして、本日出席の事務局職員の紹介をさせていただきます。

[地域福祉課長が職員等紹介]

ただいまから、推進協議会を開催させていただきたいと思いますが、開催に先立ちまして会長・副会長の選出が必要でございます。会長・副会長の選出でございますが、これは推進協議会設置要綱第5条第1項の規定により、委員の皆様方の互選となっております。どのように取り計らえばよろしいでしょうか。

● 全委員  
事務局一任で結構かと思えます。

● 事務局  
一任とのお声があがっていますが、いかがでしょうか。

● 全委員  
[異議なしの声]

● 事務局  
それでは、事務局の考えを申し上げます。会長としては学識経験者選出の井岡勉委員が適任と考えております。井岡委員につきましては、本市地域福祉計画策定委員会、並びに推進協議会の会長を務められ、大阪府や京都府などの他市の地域福祉計画策定にも携わっておられ、実績も豊富でありますので、会長に就任していただくことが、最適であると考えます。次に、副会長ですが、福祉団体選出の梶村源二委員が適任と考えております。梶村委員につきましては、井岡委員と同じく、本市地域福祉計画策定委員会、並びに推進協議会の副会長を務められ、また、摂津市社会福祉協議会会長をされております。社会福祉協議会につきましては、地域福祉推進を担う諸団体により構成され、また、地域住民の参加促進、ボランティア、福祉教育、まちづくり等の実績が豊富であり、副会長には梶村委員に就任いただくことが最適であると考えております。

委員の皆様いかがでしょうか。

● 全委員  
[異議なしの声]

● 事務局

ただいま、委員の皆様から異議なしの声がありますので、井岡委員を推進協議会の会長に、梶村委員を副会長に選任させていただきたいと思っております。井岡委員、梶村委員につきましてはよろしくようお願い申し上げます。それでは、会長席、副会長席に移動をお願いいたします。

[会長・副会長席に移動]

就任いただきました会長、副会長より、ひとことずつごあいさつをお願いいたします。

● 会長

ただいま、会長にご推挙いただきまして、大変緊張しております。第1期の計画に続いて、第2期の計画策定ということで、馬齢を重ねるばかりで、摂津市の地域ビジョンについてはうとい部分もありますので、皆様方のご指導、ご鞭撻をいただきながら、職務を全うしたいと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。

● 副会長

先ほども、市長のあいさつでございましたが、福祉というものの奥行きの高さと幅の広さに当惑しながら、社会福祉協議会の会長をやっております。特に地域福祉と申しますと奥行きが広いものなので、どうぞ、皆さんの協力で地域福祉計画が策定できますよう、お願いいたします。井岡先生の足手まといにならないように努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

● 事務局

ありがとうございました。

本日は事前に資料をお配りすることができず、当日の配布となりましたことをお詫びいたします。また、会議室も市役所内のところがすべてつまっておりまして、室外の音が聞こえるような部屋しか残っておらず、重ねてお詫び致します。

それでは、ここから次第に沿いまして、議事進行を井岡会長からお願いいたします。

● 会長

それでは、まずはじめに、事務局より、地域福祉計画推進状況の報告をお願いいたします。

● 事務局

[資料1-1、資料1-2説明]

● 会長

地域福祉計画の進捗状況について説明がありました。第1期の計画の5年間の総括にかかる報告でした。何かご意見やご質問がありましたらお願いします。いかがでしょうか。

● 委員

この進捗状況をもとにして、計画をつくっていくわけですが、いま、旧の12小学校区で予算化がなされています。しかし2つの校区は統合されて現状は10の小学校区になっています。わたしたち味舌地区では小地域ネットワークを大事にしています。行政としても中学校区に1つの拠点をたてる目標です。すでに3拠点が整備済みです。このように地域の活動がもっと活発化していく中で、懸念していることがあります。旧三宅小、旧柳田小、旧味舌小、旧味舌東小の単位が統合された場合、従来の振興補助事業とか体育祭とかもそうですが、すべてが12校区とすること、旧校区を特別扱いするのは難しいのではないのでしょうか。(小地域ネットワーク等は)ますます活発化していくので、校区というのを撤廃して、これまでの予算組みとなっている12の地域でやっていく必要があると思います。一方で、体育祭などは小学生が対象ですので統合して現状の校区単位となると思います。小地域ネットワークが活発化すればするほどに予算も必要になると思う

ので、統合する前の形式や予算で進めていく必要があると思います。

● 事務局

No. 15 のところに「小地域ネットワーク活動推進事業」の補助金額を掲載しています。全校区（旧校区）で各 50 万円の補助金を出しています。統廃合で小学校区は 10 となっています。体育祭は統合で 10 小学校区の単位で行われています。しかし、福祉の分野、小地域ネットワーク等においては、校区だけでなく、地域の公民館・集会所などで実施されるものなど、これまでの取り組みを大事にしていきたいということで、12 校区で予算を組んでいます。我々、主管の福祉サイドといたしましては、今後も引き続き 12 校区で予算を確保したいと考えておりますが、市全体の枠組みの中で考えていかねばなりません。できましたら、12 校区でということ計画にも市全体の総意として書き込めるのであれば、書き込みたいと考えています。

● 委員

No. 26 に保健・医療体制の充実があります。「近隣市と連携し、休日や夜間の医療体制の充実を図ります」となっています。

休日に応急的な診療を受けたいと思ったことがあり、かつて行ったことのある摂津市立休日応急診療所に行ったところ、小児科だけになっていて、休日に診療を行っているところを紹介してもらって診察を受けたという経験があります。

また、かかりつけ医についてですが、かかりつけ医を紹介している冊子（「かかりつけ医療機関のご案内」）を市でもらうことができました。こういう立派な冊子ができていても、市民はご存知ないように思います。知らせる方法が大事ではないでしょうか。さらに、在宅診療についても医療機関の冊子は参考にできます。救急に対応できる医療機関については何か印をつけてもらえるようにとさらにわかりやすくなると思います。

● 事務局

医師会で作成していただき、全戸配布した冊子だと思います。

● 委員

保存版は医師会が作成したものです。たしか自治連合会か老人クラブのご協力を得て、全戸配布したと思います。しかし、自治会に入っておられない方などもありますので、医師会の事務局にたくさんの冊子が余っています。

救急対応の機関についてももっとアピールした方がよいのご意見でしたが、まず、摂津市立休日応急診療所ですが、1日に2・3人しか患者がこられず、そのために医師・看護師・薬剤師を設置しておくのは資源がもったいないので閉鎖することになりました。まず、このあたりはご理解をいただきたいと思います。冊子の配布の仕方については、全戸配布でしたが 100%ではありません。私の診療所でも置いておくとは何度も持って行かれる方もいまして、比較的知っていると自負はしてはいるのですが、前川委員がご存知でなかったというのは非常に残念に思います。

● 委員

老人クラブ連合会の会長をしています。年に1回更新されているようです。かかりつけ医から保存版ができたと聞きました。私たちの会では各地区からでてきてもらう機会がありますので、その時に私のかかりつけ医からもらった保存版を渡しました。味舌地区の老人クラブの方は全員に、その他3つの地区は会長分だけを配布しました。

60才以上は22,000人程いらっしゃいますが老人クラブに加入されているのは3,479人とどまっています。60才以上になられたら、老人会に入れることをこの場等をお借りしてアピールし

たいと思います。老人会に入っただけならば、色々な情報が入りますし、そのあたりをよろしくお願ひしたいと思ひます。

● 委員

「せつつ市健康づくり年間日程表」についてご説明します。医療機関については特定健診と予防接種をしている機関を掲載しています。今後については医師会とのご相談になりますが、在宅医療まで載せられるのかどうか。「せつつ市健康づくり年間日程表」はあくまで市が実施する事業に係るものですので、医師会としての情報を載せられるのか、調整していきたくと思ひます。救急については一番後ろのところに掲載してあります。

● 会長

他にございませんでしょうか。

地域福祉計画の進捗状況報告書については5年間の総括というべきもので、協議会の役割として集約していくことが必要だと思ひますが、今日いただいたところですので、持ち帰っていただいて、成果や積み残しについてみなさんで検討することを宿題とさせていただきます。次回に集まっていた時にその意見をもちよっていただいて、5年間の総括をしながら、新たな計画策定に活かしていきたいと思ひます。

それでは時間のこともございませんで、次に移らせていただきます。事務局より、5番目の第2期計画策定に向けた今後のスケジュールについて説明をお願いいたします。

● 事務局

[資料2 (スケジュール) 説明]

● 会長

スケジュールについてですが、いかがでしょうか。策定委員会(推進協議会)が4回ということになっています。2回目などは調査結果の報告と現状と課題の検討があり、やりきれるかなと思ひますが、いかがでしょうか。場合によっては4回といわず、増やしていくようなことを考えられたらいかがでしょうか。

● 事務局

1回目の会議についても進捗状況をご提示したレベルにとどまっていますので、もう少し議論していただく機会が必要かと思ひています。

9月下旬までにはアンケート調査の中間の報告書ができるかと思ひますので、10月の初めには前倒して第2回の会議を開催していただき、回数を増やす方向で検討してまいりたいと思ひます。

● 会長

我々の当面の課題は、5年間の成果と課題がなんなのかをふまえることだと思ひます。せつかく、このような資料がでていきますので、よろしくお願ひします。

● 委員

ご提案ですが、それぞれの分野で活躍いただいていると思ひますので、10月に2回の会議では厳しいのではないのでしょうか。もう少し早い時期にこの5年間の振り返りだけでもやっていく方がよいのではないのでしょうか。8月の末や9月の頭などに開催してはいかがのでしょうか。

● 事務局

開催時期を含めて会長と相談の上、検討したいと思ひます。

● 会長

住民懇談会は大事だと思うのですが、3回ということ、1回に3～4校区ということですが、どのように進めていかれますか。

● 事務局

事務局としても悩んでいるところでして、12校区を1つ1つ実施するのもよいと思いますし、また、3つか4つの校区が集まって、互いの状況を披露しながら実施するというのもよいかと思えます。結論的にはまだ、検討している段階です。また、皆さんにご意見をいただきながら方法を検討していきたいと思えます。

● 会長

これは校区福祉委員会、社会福祉協議会と密接な関係があると思えますが。このあたりは副会長からアドバイスをいただきたいと思えます。

● 副会長

社会福祉協議会は地域福祉課と常に話し合っていますので、地域福祉課と同じような考えです。

● 会長

ぜひ、社会福祉協議会と行政が協働しながら実施していただきたいと思えます。

● 事務局

事務局としましても、校区福祉委員会、社会福祉協議会と連携しながら懇談会を実施していきたいと思えます。

● 会長

それでは第6の項目ですが、事務局より、アンケート調査について説明をお願いいたします。

● 事務局

[資料3-1、資料3-2（アンケート調査）説明]

● 会長

いかがでしょうか。なにかご意見がございませんでしょうか。

● 委員

問37と問38に「総合福祉会館」がありますが、「ふれあいルーム」の方がよいのではないのでしょうか。

● 委員

ご自分で書けない場合は、ご家族などがご本人の立場にたつてと注釈してありますが、ご家族がおられない場合はどうでしょうか。ボリュームあり、難しい内容ですので、回答をサポートする体制が必要ではないのでしょうか。

● 事務局

ごもっともなご意見だと思いますので、訪問なり、電話なりで対応することを検討した上で、

1 ページの「回答にあたって」に掲載したいと思います。

● 委員

問 36 の特別養護老人ホームに施設が 1 つ抜けているように思います。  
アンケート 2000 人の結果について公表の仕方はどうでしょうか。

● 事務局

今後実施する懇談会の場など、そういう機会に明らかにするということをアンケート票の中にも記載したいと思います。

● 委員

アンケート調査のスケジュールをみますと、発送準備等を早急にして、7 月には調査に入ることです。団体の調査も入ってくるし、半年の中で懇談会も入っているということで本当に大丈夫なのでしょう。作業量として非常に大変な状況になっています。事務局の体制としてやりきれぬのでしょうか。

市民の方はアンケートを実施するということがまだ知らないと思いますし、PR なども必要ではないでしょうか。

● 事務局

もっともなことだと思います。8 月 1 日号に広報の場を確保していきまして、掲載していきたいと考えています。

● 会長

市のホームページ等も活用されないのですか。

● 事務局

広報についてホームページ等も利用していきたいと思います。

● 会長

社会福祉協議会の方ではいかがですか。

● 副会長

広報は全戸配布となっておりますので大丈夫だと思います。

● 会長

大事なご提案ですのでよろしくお願いします。それにしても半年で調査をし、1 年間の中で計画策定までもっていくのは大変だと思いますが、事務局の推進体制は大丈夫でしょうか。

● 事務局

大変な作業だと思っていますが、地域福祉課ということで以前の福祉総務課の庶務係と高齢者障害者福祉課と地域包括等が一緒になって 1 つの課となっております。今日、前に座っている事務局もそれぞれのトップが座っていますので、課全体で取り組んでまいりたいと思います。作業上でご迷惑をおかけする点もあるかもしれませんが、よろしくお願いいたします。

● 委員

大きなところで 2 点程あげたいと思います。

暮らしにむけて、「健康上の不安」とか「生活上の不安」を問うていただくものが必要だと思います。例えば、問 17 の「(イ) 福祉の課題」の後に「生活上の困り事」を問うていただけたらいいかがでしょうか。前回の調査の報告書を見ましても、階層別にみた暮らしや医療面での不安などをわかりやすくまとめていただいていますので重ねてお願いします。

絶対必要というわけではありませんが、大阪府立大学でホームレスの方の実態調査をなさっていて、淀川流域にいらっしゃるといことがあります。摂津市の公園や河川敷などにホームレスの方がいらっしゃる場合もあると思います。このような方と住民の方とのトラブルもあるかもしれませんのでこのあたりを調査されてはいかがでしょうか。

それから、もう 1 点大きなところでは、今回、市民活動参加という設問があります。総務省では NPO について 23 や 24 に類型されています。10・11 ページを使って NPO 活動について説明が必要だと思います。また、特定非営利法人ではなく、特定非営利活動法人として「活動」をいれた方がよいと思います。

あと細かいところでは、2 ページの問 5 の「2」は「2 歳～5 歳」になると思います。

問 9 ですが、「3. 公営・公団の賃貸住宅」について、UR は建て替えて分譲になると思いますので、この場合、分譲のマンションに丸をつけるのかどうか。また、「3. 公営・公団の賃貸住宅」は府営・市営住宅のことをいっておられるのか、精査が必要だと思います。

問 10 について回答者が世帯主とは限らないので、どうするのか検討が必要です。

問 12 と問 22 については町内会と町会との文言の整理が必要です。

また、問 17 (ロ) 制度や施設、サービスに関わることについて、選択肢の「19」「20」だけが機関と人とに分けていて、分ける必要があるのか検討していただきたいと思います。

#### ● 会長

大きな提案などもございましたので再検討をお願いします。

42 問くらいあるようですが、どれくらいの時間で回答できるでしょうか。コンサルさんの方で何かありますか。

#### ● 業者

概ね 16 ページというのが回答者の負担にならない限界だと思っています。早い方ですと 10 分くらい、遅い方ですと 20 分くらいは回答するのにかかると思います。

#### ● 会長

聞いていてもしょうがないものも少しあると思いますので、削除する設問も考えていただいて、おもしろい調査だとは思っていますので、整理をお願いします。

#### ● 委員

2,000 件の抽出方法はどのようにするのでしょうか。

問 34 ですが、回答者は居住歴が浅い方もいるので、5 年前と比べるようなものは難しいのではないのでしょうか。

#### ● 事務局

ごもつともだと思います。問 34 についてはもう少し聞き方を考えたいと思います。

#### ● 会長

ここだけが 5 年間ということなので整理をお願いします。聞かなくてもよいかもしれませんが、しかし、全体としては興味深いアンケートになっていると思います。地域活動への参加意向などよいデータがでてくるのではないかと思います。

お帰りになりまして、お気づきの点は事務局まで連絡をお願いします。  
アンケートへのご意見はいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

● 事務局

日程の関係ですが、今日の議論をふまえたご意見がございましたら、できましたら7月10日までをお願いしたいと思います。また、本来は調査前にもう1度会議を開催していただくべきところですが、日程的に難しいところもありますので、会長、副会長、そして竹之下委員が色々と調査のご経験もございますので、ご意見をいただいて事務局に一任していただくようにお願いします。

● 会長

ご了解のほどよろしく申し上げます。

● 全委員

[異議なしの声]

● 会長

ありがとうございます。

それでは最後に、その他の案件ですが、事務局から何かありましたらお願いいたします。

● 事務局

以上でございます。

● 会長

それでは長時間にわたり、活発なご意見をいただきありがとうございます。最後のあいさつは梶村委員にお願いしたいと思います。

● 副会長

みなさん、長時間にわたりご審議いただきありがとうございます。なかなか難しい問題ではございますが、今後ともどうぞご協力を賜りますようお願いいたします。ありがとうございます。

閉 会